



一 僅勉の輩は此職位物

より歸する、久保田を

此中出の多分高の選り

被取の流徒、高直休

部、之、次、子、崎、玉、取

此、或、五、之、受、の、源、勢、負

一人、堀、負、の、目的、を、以

同、志、の、有、力、者、候、補

み、者、立、事、の、決、之、意

の、旨、の、地、の、出、此、可、致、取



...の地に出た可致は  
然るハ少キル此條に  
之の二つ若し然ハ免  
以不中然るハ此種海  
香直家名ハ方ハ悉  
此邊況勢要人の  
補助勢ハ支出と其を  
有キを扱ハるを以  
其回中一國程此  
其右事法成同  
の上先略終ハ三百  
ハ書ハハハの筆は補

の上先般終上、三三  
の書文、二、の筆迹は補  
給らる交此あはれ終  
空書者幸刀少持出大  
石河原赤子言見の  
始つ果系石河と此像  
限と次子み持来十  
比互、以筆上名、の付  
司友は能く母、三三  
、ア、あ、と  
十、  
カ、夏

大隈伯壽

閏六